

神経・生理心理学

[講義] 第2学年 後期 選択 2単位

《担当者名》橋本竜作 (リハ hashi-ryu@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

本科目は脳損傷後に生じる人の心理機能や行動の変化を取り扱う「臨床神経心理学」について学ぶ科目である。

【学修目標】

大脳の機能を理解するために、神経心理学の基礎知識を習得する。

脳の基本的構造、機能を説明できる。

神経心理学的な評価方法、障害を理解する視点を習得する。

支援の流れを理解し、チーム医療の重要性を理解する。

脳損傷後に生じる心理機能や行動の変化について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス 臨床神経心理学とは	講義全体の流れの説明をする。 臨床神経心理学の視点を学ぶ。	橋本 竜作
2	脳神経系の構造と機能	神経解剖学と脳の画像診断の基礎的知識を学ぶ。	橋本 竜作
3	原因疾患について	脳血管障害、頭部外傷などについて学ぶ。	橋本 竜作
4	神経心理学的評価	神経心理学的検査や評価法について学ぶ。	橋本 竜作
5	支援の基本と他領域との協働	支援の流れとチーム医療の重要性を理解する。	橋本 竜作
6	注意障害	注意障害と、関連する概念を理解する。	橋本 竜作
7	遂行機能障害	遂行機能障害と、関連する脳部位を理解する。	橋本 竜作
8	健忘症（記憶障害）	健忘症と、関連する脳部位を理解する。	橋本 竜作
9・10	失語症	失語症の症状と、タイプ分類を理解する。 症状と関連する脳部位を理解する。	橋本 竜作
11	失行症（行為障害）	失行症と、関連する脳部位を理解する。	橋本 竜作
12	失認症（視覚認知障害）	失認症と、関連する脳部位を理解する。	橋本 竜作
13	社会的行動障害、情動障害	社会的行動障害、情動障害の背景を理解する。	橋本 竜作
14・15	認知症	認知症の概念と、疾患別の特徴を理解する。 認知症の評価と支援について理解する。	橋本 竜作

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

【教科書】

緑川晶ほか（編）公認心理師カリキュラム準拠【神経・生理心理学】臨床神経心理学 第2版 医歯薬出版株式会社 2024

【参考書】

石合純夫 高次脳機能障害学 第3版 医歯薬出版 2022

松田 実（編著）初学者のための神経心理学入門 新興医学出版社 2022

【備考】

適宜、講義資料を配付します。Google classroomを利用して、予習のための資料を掲示します。

講義内容によって2回連続の変則講義を行うことがあります。

【学修の準備】

予習 (80分)

- ・テーマに関する教科書の該当範囲を熟読し、講義に臨む。
- ・授業前にGoogle classroomから提示される資料を見て、教科書にある重要語句にマーカーを引いて確認する。

復習 (80分)

- ・専門用語について、教科書や配布資料をもとに理解する。

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

DP 3 . 心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

DP 4 . 公認心理師の活動に関連する知識・技術を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している

【実務経験】

橋本竜作 (公認心理師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、専門職業人として必要とされる臨床神経心理学に関連する基本的知識を講義する。